

2019
5月号

＊原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

平和行進、世界大会にむけ署名の推進を

核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に応えて
唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に調印を

兄に背負われた弟は、すでに亡くなり、弟の火葬の順番を待っています。悲しみをこらえるため唇を強くかみしめ、血がにじんでいた、とカメラマンが語っています。1945年に米軍のカメラマン、故ジョー・オダネルさんが原爆投下後の長崎で撮った写真です。核兵器廃絶を訴えるフランスのコローマ大王はこの写真に印刷し、配布されました。被爆地、平和のメッ

この写真をご存知です



焼き場の少年。

1945年9月、広島県から長門に入った私は、小高い丘から下を眺めていました。10歳くらいの赤い髪の子供が背にまみり、おんぶをたすき掛けにして背中を向けて立っていました。この焼き場にやってきた強い煙草の臭いを感じました。しかも、少年は顔で地を、両足の間に6分ほどまみりたてた状態で、おむつに白いマスクをした少年が背に背つき、ゆっくりと歩いているのを見ました。私は背中の子供が死んでいるの気がしました。強い煙草の臭いが、ジュースと混ざりました。まぶしい光が降り、直立不動の少年のあどけない顔を夕陽のように照らしました。涙を流し、死を待つように見つめる少年の顔には血がにじんでいました。あまりにもきつくて目を揉みしめているので、目を閉じて顔を擦っていました。気が休まる時、少年はくすりくすり歩きました。死期を待たずに歩いているように見えました。背を流すような光景でした。

photo+text ジョー・オダネル (広島原爆資料館)

セージを世界に発信したいと思う法王の気持ちが伝わります。法王は今年の11月に日本の訪問を予定しています。米軍のカメラマン、故ジョー・オダネルさんは、ヒロシマ・ナガサキなどで写真を撮り続けました。当時アメリカでは原爆神話がふりまかれていました。「原爆は事前に警告され、民間人ではなく軍事基地を攻撃した」「戦争を早く終結させた」「本土決戦が回避され、100万人の米国人、それ以上の日本人が救われた」「米国は神に選ばれ、慈悲深い行いをした救世主」「放射性物質は熱と爆風によっておろし影響がない」など...

2007年8月9日に85歳でジョー・オダネルさんはなくなりました。原爆正当化論が激しい米国の中、彼は各地で写真展を開き「核戦争を繰り返さない」を訴え続け、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害の実相を伝えました。原爆神話が続く限り、アメリカが、そして世界も核兵器の廃絶にむかうはずはありません。原爆が落とされて74年。世界の流れは「核兵器禁止条約」にむけて大きく動き出しています。平和行進、世界大会の取り組みを通し「ヒバクシャ国際署名」を大きく進めていきましょう。

核兵器をめぐる情勢を学び、平和行進、世界大会成功にむけての「つどい」を行います。ご参加を

◎日時 5月25日(土)14:00~16:00
◎場所 大阪グリーン会館2階ホール

大阪原水協がヒバクシャ国際署名の先頭に！ ~第90回大阪メーデー会場~



ヒバクシャ国際署名

52万 5000 筆 (4月25日現在)

核兵器禁止条約調印国&批准国

70 カ国、23 カ国 (2019年4/11現在)

4月11日、新たにパナマが23カ国目の国として批准書を国連事務総長に寄託

五月一日、扇町公園で第90回大阪メーデーが、「働くものの団結で生活と権利を守り、暴走政治ストップ、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメイン・スローガンのもと開催されました。会場入り口で川辺和宏大阪原水協理事長、続昌司事務局長らが署名の先頭にたって訴えました。途中雨が強く中止を余儀なくされました。「ヒバクシャ国際署名」をすすめる意気込みだけは理解していただきたいと思います。

2019年国民平和大行進、各地域準備へ

・大阪府内6月30日～7月7日・

タリメンキ520被されを録進和国民510被れまて属会に所
ユド0年の爆7、製映画の記大行平に97の爆3爆す
ンキ年1の7、作画の記大行平に97の爆3爆す
リメンキ520被されを録進和国民510被れまて属会に所

戦争のない世界へ向って

第六回原水爆禁止世界大会

史上空前の大行進

昨年までの大規模な活動は、パッシブ15万、争いの中で国民の間に、世界政府を対する関心が薄く、満足していることを裏書きする。

【学習資料の紹介】
『9条の挑戦』(大月書店)
なぜ今、非軍事中立なのか、との自問自答に三人の著者(伊藤真・神原元・布施祐仁)の考えた安倍政権の「9条改憲」への対案です。
「非軍事中立」論は現実離れした理想論ではなく、“安全保障環境の変化に対応した最も現実的な道である”と述べられます。
今日の情勢の必見の書の一つです。

今年度の国民平和大行進には、国際青年リレー行進者として、ピーター・フェニスさん(写真)が奈良・大阪コースを歩かれます。フィリピンのミンダナオ人民平和運動に参加している青年です。昨年のラダ・ムーサさんについて二人目です。

また、全国通し行進者は、山口逸郎さんです。被爆者の声をうけつづ映像祭実行委員会に所属され、被爆30年の節目に国民平和大行進の記録映画製作、被爆70年の節目に、被爆70年を記念した「核兵器のない世界へ」の講演をされた有原誠治さんです。



映像『一歩でも二歩でも』をプロデュースされました。なお、その映画を撮影された監督が、昨年12月ヒバクシャ国際署名推進大阪の会の「核兵器なき世界へ」映画とトークのつどい」に講演をされた有原誠治さんです。

通し行進者をご希望の方は、大阪原水協事務局までお問合せください。また、沿道にまぐらも検討中です。今夏は参議院選挙が予定されています。府内の行進時、選挙公示



なども予想されます。非核・平和の声を府内隅々まで届けましょう。

〈大阪平和アーカイブ 1960年平和行進〉

60年安保闘争が高揚している60年6月29日、「沖繩コース」の一環として兵庫県西宮から池田に入ってくる行進です。府内の支線コースは和泉コース(泉佐野・泉大津・堺)、長野コース(河内長野・羽曳野)が7月1日に大阪市に入り、7月2日に大阪市から高槻、枚方から京都に、柏原から奈良へと引き継がれていく、「史上空前の大行進」となりました。

9条の挑戦

非軍事中立戦略のリアリズム
伊藤真・神原元・布施祐仁

軍事力に頼らない安全保障とは?!
「9条改憲」の対案はこれだ!

大月書店 定価¥1,600円(税別)

ご参加をお願いします!

2019 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟
全面勝利をめざすつどい

日時 6月15日(土) 午後2時～4時半
場所 大阪商工団体連合会3ホール(エレベーター無)
記念講演 『始まりは京都原爆症小西訴訟…私たちが得た成果と今後の課題』
講師 弁護士 久米弘子 さん
☆特別報告 森容香さん(枚方市原爆被害者の会会長)
※ 文化行事～島唄を平和の力に～
島唄文化を考える会 牧 志徳 さん
☆原告紹介・激励
☆弁護団報告/行動提起/閉会あいさつ
《共催》
ノーモア・ヒバクシャ訴訟近畿弁護団
ノーモア・ヒバクシャ訴訟支援近畿連絡会

【5月度の予定】

- 5月13日 旭区原水協総会
- 5月15日 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟1007号法廷(11:00)
- 5月16日 6・9行動(上六)
- 5月23日 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟判決806号法廷(11:00)
- 5月25日 「核兵器のない世界をめざすつどい」(グリーン会館)(14:00)